

# 2009 国際有機農業映画祭

「大切にしたい暮らし」

2009  
11.27-28

## 上映作品



アボン 小さい家  
(2002年/フィリピン・日本)



水になった村  
(2007年/日本)



すべては自然の贈りもの — 西会津のお天気母さん —  
(2008年/日本)



未来を見つめる農場  
(2008年/日本)



キング・コーン — 世界を作る魔法の一粒 —  
(2007年/アメリカ)



多収量コム栽培に挑むラオス農民  
(2008年/ラオス)



ラオス 農に生きる7人  
(2008年/ラオス)



コムこそアジアのいのち  
(2007年/マレーシア)



みんな生きなければならぬ  
(1984年/日本)



ビヨンド・オーガニック  
(2000年/アメリカ)



生きている土  
(1982年/日本)



コミュニティの力  
(2006年/アメリカ)

国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール

2009年11月27日(金)28日(土)

主催：国際有機農業映画祭実行委員会／東京ピースフィルム倶楽部

みなさまのご支援に支えられ、国際有機農業映画祭は本年、第3回を迎えることができました。おかげをもちまして2007年、2008年と行った映画祭はとて好評で、世代を超えて多くの方々に見ていただくことができました。

私ども実行委員会でも、経験を重ねるごとに、有機農業が持つ深さと広さを発見し、圧倒される思いがあります。有機農業とは、単なる農業のやり方とか農法という枠組みを超えて、自然をどう捉えるか、森や水や土やそれらの中に存在する多様な種とどう向き合うか、といった、この世界を丸ごと捉える営みであり概念なのだという思いを深くしています。

今年の第3回映画祭は、有機農業が持つこうした幅広さと奥深さを映画祭全体で表現したいと考え、プログラムを組んでみました。この20年、世界はすべてを市場に投げ込んで勝ち負けを競い合うという単純かつ冷酷極まりない価値観とシステムの下で、破壊され分断されてきました。そんな世界の状況に向き合いながら、自然と人との織り成す関係のあり方を組み直し、その上に人と人が本来持っているはずの関係性を再発見し、もやい直す。有機農業がもつそんな可能性を上映作品の中に見出していただければ、映画祭を企画したものとしてとてもうれしいことです。

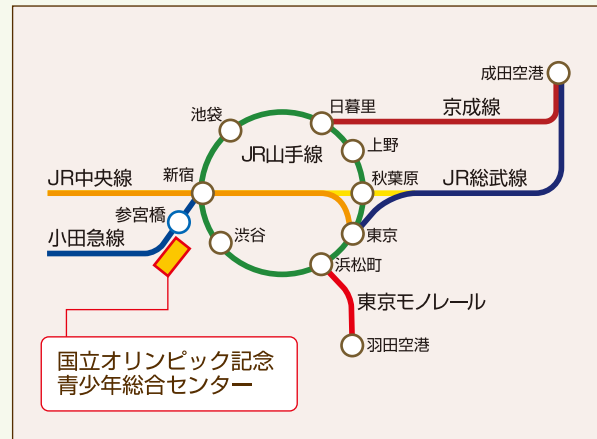
また、今回は見るだけでなく多くの方に映像作りの面でも参加する機会を持っていただこうと、自然や農や食をテーマとする3分間手作りビデオを募集し、上映する企画を実現しました。応募をお待ちします。映画祭、ぜひのぞいてください。そして感じ、楽しんでください。

IFOOF

International Film Festival on Organic Farming

国際有機農業映画祭実行委員会  
代表 大野和興

## 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール



- 東京駅から JR中央線 約14分<新宿駅乗り換え> 小田急線 各駅停車「参宮橋駅」下車
- 羽田空港から 東京モノレール<浜松町駅乗り換え> JR山手線(外回り) <新宿駅乗り換え> 小田急線 各駅停車「参宮橋駅」下車
- ★ 小田急線 「参宮橋駅」下車 徒歩約7分
- ★ 東京メトロ千代田線 「代々木公園駅」(C02)下車 (代々木公園方面4番出口)徒歩約10分
- ★ 京王バス 新宿駅西口(16番)より/渋谷駅西口(14番)より いずれも「代々木5丁目」下車

## 参加費 27日券:1,500円 28日券:2,000円 2日通し券:3,000円 ※会員登録制(無料)

参加をご希望の方は、10月31日までにFAX、Eメールまたは郵便にてお申し込みください。

会員登録と参加費の振込みをもってお申込みとなり、チケットを郵送します。

▲ 当日券はございませんので、ご注意ください。

※この映画祭は、チケットの半券にて途中入場可能です。但し、各映画開始後の入場はご遠慮下さい。

チケット受付：国際有機農業映画祭事務局 〒242-0004 大和市鶴間2-13-36-408

FAX：046-276-1064 Eメール：ticket@yuki-eiga.com

■協力 NPO法人日本有機農業研究会 NPO法人アジア太平洋資料センター

■協賛 希望制作所(韓国) 国際農業監視行動ネットワーク(マレーシア)

■公式ウェブサイト <http://yuki-eiga.com/> 地域での映画祭開催のご相談を承ります。ご相談ください。